

特別講演

9月14日（木）11：20～12：20 A会場

消化器の発生における遺伝子ネットワークの解明を目指して

八杉 貞雄 首都大学東京 大学院理工学部研究科生命科学専攻

座長：立松 正衛 愛知県がんセンター研究所 腫瘍病理学部

会長講演

9月14日（木）13：20～14：20 A会場

胃癌：ピロリ菌・幹細胞・胃腸混合型腸上皮化生

立松 正衛 愛知県がんセンター研究所 腫瘍病理学部

座長：田原 榮一 財団法人 広島がんセミナー

シンポジウム

A-S-1 シンポジウム 9月14日(木) 14:50～16:14 A会場

胃型胃癌、腸型胃癌

座長：井藤 久雄 鳥取大学医学部基盤病態医学講座器官病理学分野
藤盛 孝博 獨協医科大学人体病理

A-S-1-1. SAGE 法で同定した胃癌関連遺伝子と胃型腸型形質との関連

広島大学 大学院医歯薬学総合研究科 分子病理学 大上 直秀

A-S-1-2. ヒト胃癌における RUNX3 発現と細胞形質分化の検討

名古屋市立大学大学院 臨床機能内科学 小笠原尚高

A-S-1-3. Epstein-Barr virus 感染と胃癌の形質発現

愛知がんセンター研究所 腫瘍病理学部 平野 直樹

A-S-1-4. 進行胃癌における胃型・腸型の検討

獨協医科大学 第一外科 大塚 吉郎

A-S-1-5. 胃の良悪性境界病変と胃型・腸型形質 - ESD 標本を用いた検討

滋賀医科大学附属病院 病理部 九嶋 亮治

A-S-1-6. 形質発現および組織型の点から検討した胃分化型腺癌の悪性度

東京医科歯科大学大学院 分子病態検査学 関 貴行

A-S-1-7. 胃型・腸型の形質発現 - ヒト胃癌および *Helicobacter pylori* 感染スナネズミ腺胃癌 -

愛知がんセンター研究所 腫瘍病理学部 溝下 勤

B-S-1 シンポジウム 9月14日(木) 9:30~11:18 B会場

消化器癌の発生と抑制 動物モデルから

座長：中釜 齊 国立がんセンター研究所生化学部
田中 卓二 金沢医科大学腫瘍病理学

- B-S-1-1. 肝再生および残肝再発における COX-2、HGF、VEGF、Hypoxia inducible factor-1 α (HIF-1 α) の役割と肝線維化および病理学的腫瘍血管因子との関連
- ラット障害肝における HIF の誘導モデル -
日本医科大学 外科 松田 範子
- B-S-1-2. PhIP 誘発ラット大腸発がんの初期病変と、 β -catenin 遺伝子変異及び遺伝子発現
プロファイルの系統差
国立がんセンター研究所 生化学部 落合 雅子
- B-S-1-3. 大腸発がん初期過程における翻訳関連因子 SND1 の関与
国立がんセンター研究所 生化学部 中釜 齊
- B-S-1-4. 大腸癌発生における細胞間接着因子 Necl-5 の役割
- Necl-5 ノックアウト大腸発癌マウスを用いた解析 -
獨協医科大学病理学 (人体分子) 阿部 暁人
- B-S-1-5. Dextran sulfate sodium 飲水投与による X 線誘発潜在的発癌イニシエーションの活性化
愛知県がんセンター研究所 腫瘍病理学部 豊田 武士
- B-S-1-6. 共役リノール酸 (CLA) 異性体の AOM 誘発ラット ACF 抑制効果
金沢医科大学 腫瘍病理学 甲野 裕之
- B-S-1-7. COX-2 阻害剤による大腸炎症性腫瘍の抑制効果
- p53 ノックアウトマウス大腸炎症性発癌モデルにおける検討 -
獨協医科大学病理学 (人体分子) 武川賢一郎
- B-S-1-8. AOM 誘発ラット大腸発がんにおける DITC の修飾効果
金沢医科大学 腫瘍病理学 杉江 茂幸
- B-S-1-9. マウス大腸陰窩の分裂 (Fission mechanism) と発癌感受性
愛知県がんセンター研究所 腫瘍病理学部 塚本 徹哉

レクチャー

B-L-1 レクチャー 9月14日(木) 12:30～13:00 B会場

乏血管性腫瘍の特質としての癌の悪性化

演者：江角 浩安 国立がんセンター研究所支所長

座長：城 卓志 名古屋市立大学大学院医学研究科 臨床機能内科学

B-L-2 レクチャー 9月14日(木) 14:20～14:50 B会場

ピロリ菌感染胃粘膜におけるIII型粘液の役割

演者：中山 淳 信州大学医学部病理組織学講座

座長：今井 浩三 札幌医科大学学長

B-L-3 レクチャー 9月15日(金) 12:00～12:30 B会場

胃癌のトランスクリプトームダイセクション - 探索と展開 -

演者：安井 弥 広島大学大学院医歯薬学総合研究科分子病理

座長：上西 紀夫 東京大学消化管外科・代謝栄養内分泌外科

プロジェクト報告

B-G-1 プロジェクト報告 9月15日(金) 13:30～14:00 B会場

遺伝子発現と予後

演者：澤田 鉄二 大阪市立大学大学院医学研究科腫瘍外科

座長：上西 紀夫 東京大学消化管外科・代謝栄養内分泌外科

ワークショップ

A-W-1 ワークショップ 9月14日(木) 9:30～11:18 A会場

消化器癌の進展とバイオマーカー

座長：田尻 孝 日本医科大学大学院医学研究科臓器病態制御外科
汐田 剛史 鳥取大学大学院医学系研究科遺伝子医療学

A-W-1-1. 4-oxo-2-hexenal の中期イニシエーション活性検索法を用いた発がん性の検討

愛知県がんセンター研究所 腫瘍病理学部 高須 伸二

A-W-1-2. ZWINT 遺伝子発現の肝細胞癌における臨床病理学的意義

九州大学生体防御医学研究所腫瘍外科 家田 敬輔

A-W-1-3. 食道扁平上皮癌の発癌における Von Hippel Lindau (VHL) 遺伝子蛋白と hypoxia inducible factor (HIF) 1- α 遺伝子蛋白の発現

日本医科大学外科(消化器外科) 牧野 浩司

A-W-1-4. ヒスタミン2受容体・ガストリン受容体欠損マウスにおける急性胃粘膜萎縮に伴う胃底腺構造の変化

東京大学医学部附属病院 胃食道外科 愛甲 丞

A-W-1-5. 早期胃癌とその周辺粘膜における telomere volume の変化

奈良県立医科大学医学部 分子病理学 藤井 澄

A-W-1-6. 漿膜浸潤胃癌における iNOS 発現の血管新生および樹状細胞浸潤への影響

鳥取大学医学部 病態制御外科 辻谷 俊一

A-W-1-7. 臨床病理学的にみた大腸癌の発育進展形式に関する検討

愛知県がんセンター中央病院 内視鏡部 田近 正洋

A-W-1-8. 進行大腸癌における budding の臨床的意義とその成立に関与する beta - catenin , MMP-7 の発現

総合病院土浦協同病院 病理部 池田 聡

A-W-1-9. 大腸癌の進展にレドックス制御は関与している

鳥取大学 機能病態内科学 村脇 義之

A-W-2 ワークショップ 9月14日(木) 16:14～17:02 A会場

胃癌の分子機構

座長：辻谷 俊一 鳥取大学医学部病態制御外科
梶村 春彦 浜松医科大学第1病理

A-W-2-1. ヒト胃組織における CYR61 蛋白の発現

鳥取大学医学部 器官病理学 前田 憲孝

A-W-2-2. 胃癌における ERas 発現と CPT-11 耐性

名古屋市立大学大学院医学研究科 臨床機能内科 久保田英嗣

A-W-2-3. 胃癌切除例における K-sam 発現の臨床病理学的背景と予後についての検討

大阪市立大学大学院 腫瘍外科 豊川 貴弘

A-W-2-4. 胃癌の細胞不死化制御機構における DNA ミスマッチ修復系不活化の関与

神戸大学大学院 医学系研究科 外科病理学分野 大森 靖弘

A-W-3 ワークショップ 9月15日(金) 9:00～10:24 A会場

消化器癌の転移克服に向けて

座長：桑野 博行 群馬大学病態総合外科

平川 弘聖 大阪市立大学大学院 腫瘍外科

A-W-3-1. 食道癌患者における術前末梢血中 VEGF-C 値の検討

群馬大学大学院 病態総合外科 木村 仁

A-W-3-2. リンパ管内皮マーカー D2-40 による胃癌における腫瘍内リンパ管数と浸潤・転移

九州大学大学院消化器 総合外科 池田 圭介

A-W-3-3. Reg IV による胃癌腹膜播種の促進

奈良県立医科大学医学部分子病理学講座 大森 斉

A-W-3-4. SM 大腸癌におけるリンパ節転移リスクファクターの検討

東京医科歯科大学大学院 病理学 河内 洋

A-W-3-5. 大腸癌における chemokine receptor CXCR4 の発現の臨床的意義

大阪市立大学大学院 腫瘍外科 福永 真也

A-W-3-6. 高密度オリゴヌクレオチドアレイを用いた同時性大腸癌肝転移における網羅的染色体変異解析

東京大学 先端科学技術研究センターゲノムサイエンス 山本 尚吾

A-W-3-7. 直腸カルチノイド肝転移に対する生体肝移植の適応

群馬大学大学院 病態総合外科学 末廣 剛敏

A-W-4 ワークショップ 9月15日(金) 10:24～11:36 A会場

大腸癌の分子機構

座長：砂川 正勝 獨協医科大学 第一外科

横崎 宏 神戸大学大学院医学系研究科外科病理学分野

A-W-4-1. ヒト大腸癌における claudin-7 の発現低下

神戸大学大学院 医学系研究科 外科病理学分野 中山 文仁

A-W-4-2. 大腸癌における Sonic Hedgehog 発現の意義

徳島大学 臓器病態外科 吉川 幸造

A-W-4-3. 大腸癌発生早期における分子病理学的検討

鳥取大学医学部 機能病態内科学 八杉 晶子

A-W-4-4. DNA 修復遺伝子 MYH、APE1 および薬物代謝遺伝子 CYP 1A1、NAT2 の SNP s
解析による大腸癌易罹患性の研究

神戸大学医学系研究科・保健学専攻 笠原麻友美

A-W-4-5. SNP タイピングアレイを用いた大腸癌のゲノム量的異常解析

自治医科大学 消化器一般外科 倉科憲太郎

A-W-4-6. 大腸癌におけるオートファジーによる細胞死回避と発がんへの関与

国立がんセンター 臨床開発センター 佐藤 和典

A-W-5(1) ワークショップ 9月15日(金) 13:30～14:30 A会場

消化器癌の新しい薬物療法へ向けて(1)

座長：久保田哲朗 慶應義塾大学医学部外科

西山 正彦 広島大学原爆放射能医学研究所分子生物研究部門分子情報研究分野

A-W-5-1. 時計遺伝子を標的とした新たな癌治療の可能性

福島県立医科大学 外科学第2講座 岩館 学

A-W-5-2. 栄養飢餓耐性を標的とした薬剤の探索

東邦大 薬研生化学 山下 諒子

A-W-5-3. 膵臓癌細胞株における飢餓耐性調節遺伝子の網羅的解析

国立がんセンター東病院 臨床開発センター がん治療開発部 金原 左京

A-W-5-4. 消化管癌における CPT-11 効果規定因子の同定

広島大学原爆放射線医科学研究所 遺伝子診断治療開発 麓 祥一

A-W-5-5. 胃癌細胞株に対する mTOR 標的治療の有用性

広島大学医学部 腫瘍外科 重松 英朗

A-W-5 (2) ワークショップ 9月15日(金) 14:30～15:30 A会場

消化器癌の新しい薬物療法へ向けて(2)

座長：島田 光生 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
機関病態修復医学講座臓器病態外科学

折戸 悦朗 名古屋市立大学大学院医学研究科臨床機能内科学

A-W-5-6. 根治切除不能進行胃癌に対する治療戦略－術前 TS-1+Paclitaxel 腹腔内投与－

徳島大学 外科 栗田 信浩

A-W-5-7. チミジル酸合成酵素の遺伝子多型と LOH 解析に基づく大腸癌の予後判定と
化学療法の効果予測

金沢大・がん研 腫瘍制御 川上 和之

A-W-5-8. 胆道癌における thymidylate synthase (TS) および dihydropyrimidine
dehydrogenase (DPD) mRNA 発現量の意義と GFP 療法の有用性

徳島大学大学院 臓器病態外科学 森根 裕二

A-W-5-9. 腫瘍間質における PDGFR 発現をターゲットとした大腸癌に対する分子標的治療

広島大学 分子病態制御内科 北台 靖彦

A-W-5-10. 切除不能膵癌における Gemcitabine の役割

名古屋第二赤十字病院 消化器科 蟹江 浩

B-W-1 ワークショップ 9月14日(木) 14:50～16:02 B会場

ピロリ菌と胃癌

座長：三木 一正 東邦大学医療センター大森病院消化器内科
中山 淳 信州大学医学部病理組織学講座

B-W-1-1. 若年者胃癌；Helicobacter Pylori 感染と関連し CYP2E1 とは関連しない

日本医科大学 武蔵小杉病院 消化器病センター 坊 英樹

B-W-1-2. ヘリコバクター・ピロリ除菌療法により胃粘膜 DNA メチル化異常は改善する

国立がんセ・研・発がん研究部 中島 健

B-W-1-3. Expression profiling of transdifferentiation of chief cells into gastric metaplasia

Department of Gastrointestinal Surgery, Graduate School of Medicine, University of Tokyo, Tokyo, Japan

Masako Ogawa

B-W-1-4. *H.pylori* 感染による粘膜性状 (Sydney System Score) や、ペプシノーゲン法による胃発癌リスク評価とリスクマーカーとしての胃粘膜サイトカイン遺伝子発現との関連

日本医科大学 外科 加藤 俊二

B-W-1-5. ナタネ原油由来 4-vinyl-2, 6-dimethoxyphenol [Canolol] のスナネズミ *H. pylori* 感染および胃発癌の抑制作用

愛知県がんセンター研究所 腫瘍病理学部 曹 雪源

B-W-1-6. ヘリコバクターピロリ感染スナネズミ胃癌発癌モデルにおける選択的 c yclooxygenase- 2 阻害剤の腫瘍発生抑制効果に関する検討

和歌山県立医科大学 第二内科 曲里 浩人

B-W-2 ワークショップ 9月14日(木) 16:02～17:14 B会場

消化器癌の増殖抑制

座長：源 利成 金沢大学がん研究所腫瘍制御
國安 弘基 奈良県立医科大学医学部分子病理

B-W-2-1. 大腸癌術後補助療法における Bevacizumab の効果

久留米大学医学部 外科 溝部 智亮

B-W-2-2. 非環式レチノイドの肝発癌抑制機序：鉄代謝の制御

鳥取大学大学院医学系研究科 遺伝子医療学 土谷 博之

B-W-2-3. リノール酸による癌細胞へのドーマンシーの誘導

奈良県立医科大学医学部 分子病理 大森 斉

B-W-2-4. 手術侵襲による腫瘍増大とエンドトキシントレランス誘導による抑制についての検討

東京大学医学部 胃食道外科 畑尾 史彦

B-W-2-5. HO-1 阻害剤亜鉛プロトポルフィリンによる腫瘍形成の抑制

奈良県立医科大学医学部 分子病理 笹平 智則

B-W-2-6. ヒト胃における MAD1 の発現、細胞内局在および細胞増殖抑制効果の検索

鳥取大学医学部 器官病理学 尾崎 充彦

B-W-3 ワークショップ 9月15日(金) 9:00～10:24 B会場

消化器癌のエピジェネティック変異

座長：小西 文雄 自治医科大学附属大宮医療センター外科
前原 喜彦 九州大学大学院消化器総合外科

B-W-3-1. 食道扁平上皮癌における p16 遺伝子メチル化の意義

大分大学医学部 腫瘍病態制御講座 藤原 省三

B-W-3-2. 胃癌における分泌型 Frizzled 関連蛋白遺伝子のエピジェネティックな不活化

札幌医科大学 公衆衛生学 鈴木 拓

B-W-3-3. 胃癌における EZH2 の発現の意義

国立がんセンター臨床開発セ・病理 藤井 誠志

B-W-3-4. 若年発症散発性大腸癌における癌抑制遺伝子及び癌関連遺伝子群の
DNA 異常メチル化の意義

自治医科大学附属大宮医療センター 外科 野田 弘志

B-W-3-5. Apc Min マウスにおける global DNA hypomethylation の相反する効果

岐阜大院医 腫瘍病理 山田 泰広

B-W-3-6. Colitic cancer の発癌及び発育進展における p14ARF 及び p15INK4b 異常メチル化
の意義

自治医科大学附属大宮医療センター 外科 岡田晋一郎

B-W-3-7. 肝細胞がんにおけるエピジェネティックな遺伝子制御異常について

愛知県がんセンター研究所 分子腫瘍学部 近藤 豊

B-W-4 ワークショップ 9月15日(金) 10:24～11:36 B会場

消化器癌の分子機構

座長：小俣 政男 東京大学大学院医学系研究科消化器内科
森 正樹 九州大学生体防御医学研究所腫瘍外科

B-W-4-1. ヒト消化器がんにおける EphA7 の発現変化

浜松医科大学 第1病理 梶村 春彦

B-W-4-2. 消化器癌における新たな癌遺伝子；KIF14

九州大学 生体防御医学研究所 腫瘍外科 中村 能人

B-W-4-3. 消化管癌における Keratinocyte growth factor receptor (KGFR) と ligands の役割

日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター 渡辺 昌則

B-W-4-4. B型肝炎ウイルスのコアプロモーター領域変異と肝発癌についての検討

名古屋市立大学大学院医学研究科 臨床機能内科学 菅内 文中

B-W-4-5. 肝癌における *PIK3CA* の変異解析

東京大学医学部 消化器内科 田中 康雄

B-W-4-6. cDNA マイクロアレイによるヒト肝細胞癌株の分化誘導規定遺伝子の解析

九州大学大学院消化器・総合外科(第2外科) 山下 洋市

B-W-5 ワークショップ 9月15日(金) 14:06～15:18 B会場

食道癌の分子機構

座長：落合 淳志 国立がんセンター臨床開発センター病理
片岡 洋望 名古屋市立大学大学院医学研究科臨床機能内科

B-W-5-1. 食道癌における p53 機能異常についての解析

九州大学大学院 消化器・総合外科 江頭 明典

B-W-5-2. 食道扁平上皮癌における PIK3CA 遺伝子発現の意義

日本医科大学 第一外科 赤城 一郎

B-W-5-3. 食道扁平上皮癌における Chk2 発現の検討

東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科人体病理学分野 小林 真季

B-W-5-4. 食道扁平上皮癌における Akt, Mdm2 の発現

日本医科大学 外科 高橋 健

B-W-5-5. リン酸化 EGFR の核発現と食道 SCC の予後に関する検討

獨協医科大学病理学(人体分子) 星野 美奈

B-W-5-6. 食道組織における Q-FISH によるテロメア長測定法を用いた良・悪性診断と
テロメア代謝

東京大学消化管外科・代謝栄養内分泌外科 神森 眞